

新任 医師紹介



泌尿器科 医長

4月
就任



小池 繭美
Koike Mayumi

出身：神奈川県
専門：泌尿器科領域全般
休日の過ごし方：
子供と遊びます
好きな食べ物：カレーライス

患者様に一言：
丁寧な説明を心がけます。ご不明な点は遠慮無くご質問ください。



消化器外科 医長

4月
就任



長谷部 圭史
Hasebe Keiji

出身：愛知県安城市
専門：消化器外科全般
趣味：ジョギング、ピアノ、
読書、子供と遊ぶこと
好きな食べ物：魚、水
好きな言葉：誠実

患者様に一言：
真摯に診療いたしますので、気兼ねなく何でもご相談ください。

医療機関様からの声にお答えします！



開業医

以前は救急や時間外の受け入れが難しい印象があり、紹介先の候補から外してました。



開業医

当直医が整形外科医師の際、内科患者の受け入れを断られたことがあったので、それからは紹介するのをやめました。

当院では、画像連携システムを導入するとともに、当直医と待機医が連携する体制を整備しました。
これにより、時間外においても診療科にかかわらず、円滑な救急受け入れが可能となっています。



院長

～急性期から介護まで～地域医療の中核病院

Tokai

spring
春
2026

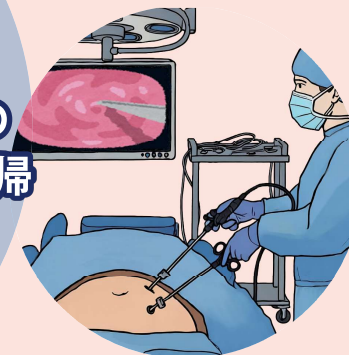
特集

リハビリ × がん治療

周術期の積極的な リハビリ



低侵襲がん治療



早期の 社会復帰



高齢者の方が入院されると、入院前の生活と同じ方法で在宅に復帰されることが難しいケースもしばしばあります。入院中は、機能の回復を図ることはもとより、今まで苦労して行ってきた方法にも着目し、無理なく笑顔で在宅での生活が続けられるように、より具体的に支援します。



リハビリ×がん治療

がん治療において、術後動くことが難しくなってからリハビリを行うのではなく、術前、術後早期から、リハビリを行うことで、以下のようなメリットがあります。



術後の合併症の予防

PT
6名

OT
3名

ST
2名

術後の回復をスムーズにする

早期回復、退院



当科には、がんのリハビリテーション研修を終了したスタッフが11名在籍しています！

医師、看護師、薬剤師、栄養士、医療ソーシャルワーカーなど、多職種で連携し、がん治療を支援します。

在宅復帰にむけて 力強く支援します

PT

Physical Therapist

理学療法士

杖、シルバーカー、歩行器は様々なタイプのものがあります。使う場面、環境にあわせて、適切なタイプのご提案をします。実際にご自宅で使用されるにあたっては、担当ケアマネジャー、福祉用具の業者の方とも直接お話をいただき、調整しております。

OT

Occupational Therapist

作業療法士

日常生活動作(食事、トイレ、入浴、家事など)は、ご自宅の環境によって、方法が様々です。段差、扉、手すりなどご自宅の様子をうかがって、行いやすい方法をご提案し、練習していきます。

ST

Speech-Language-Hearing Therapist

言語聴覚士

嚥下能力が低下している場合、適切な姿勢や食べ方の指導を行います。また能力に応じた食事形態の提案や嚥下食品のご案内などをして、誤嚥の予防をはかれるように支援します。

がんのリハビリテーション担当リーダーより

治療時期に合わせ、セラピストが最適な運動プログラムを設定します

身体機能の維持・回復にむけ、個性の高いプログラムを提供します

メンタルサポートも行き、QOLの向上を目指します

地域の先生方へ

以下のような患者さんは、ご紹介先の一つとしてご検討いただければ幸いです。

- ・高齢で体力低下が気になるが、がん治療を検討したい
- ・手術後・治療後の生活低下が心配
- ・化学療法を続けられるか不安がある
- ・「治療だけでなく、その後の生活まで考えてほしい」と希望されている

当院では、がん治療を「人生の中断」にしない医療を目指しています。

KKR東海病院 病院長 小松 俊一郎